

立命館憲章改正へ

「学園が目指す在り方」反映

10月中旬 125周年式典で発表計画

「立命館憲章」①②の改正案が4月25日、manaba(マナバ)+Rのお知らせで公開された。「立命館憲章」改正検討委員会の事務局である総務課は、同日から6月6日まで学内を対象に意見募集を実施。意見を踏まえて修正した後、7月下旬の理事会で最終決定し、10月18日に行われる立命館創立155年・学園創立125周年記念式典で改正憲章を発表する計画だ。(小林)

「戦争の痛苦の体験」は不記載

立命館憲章改正
検討委員会が答申で示した改正のポイント

社説	教職員組合が見解	現行憲章全文
4	3	2

検討委が議決した答申によると、理事長と総長が憲章の一部改正の検討を決議し、2024年7月26日の理事会で検討委が設置された。学園を取り巻く情勢が変化する中、学園の到達点を踏まえて今後目指す学園の在り方を憲章に反映し、社会に発信していく必要性があったという。

検討委は、改正の要点の一つに「分りやすい表現」を挙げた。「中学生でも理解ができれば理解できる内容」を目指し、分量を減らし読みやすい文体にしたという。改正案では、第3段落に

「立命館憲章」立命館の教育・研究活動の根幹にある理念や精神を明文化し、立命館に関わ全ての構成員が共有する価値観や行動指針を示すもの。教学や経営において一貫性と方向性を確保する上で、重要な役割を担う。

「多様性の尊重」を、第4段落に「次世代研究大学・次世代探究学園に向けた決意」を盛り込んで再構成した。建学の精神「自由と清意」を盛り込んで再構成した。非暴力の原則を貫き」という文言も「中高生や留学生に理解してもらうことは難しい」と検討委として、現行憲章から引き継いだ。

「憲章を自分事に」

本紙の取材に、検討委の高山茂・元委員長は「改正の利点は、憲章を自分事として捉えられること」「学校が決めたことではなく、自分たちが決めたこととして捉えてほしい」と話した。山下範久・元事務局局長は「多岐にわたる意見が出たことについて『立命館は』憲章という重い文章をこれだけ議論して変えていく力強さをもった学園だ」と振り返った。

高山元委員長は「改正のデメリットはない」と考えていると発言し、山下元事務局局長は「改正のデメリットは、横で目を閉じた記憶がある。祖母の葬儀前夜も、やっぱりラジカセは付いていた。また、『ヘンなの』と思った。『おじいちゃん』と言わなければ、暗くて静かだ、やっぱりまだ戦争のこと思い出してしまっている。母がそう言った。祖父が戦争を体験していることはもちろん知っていた。しかし正直なところ、戦争について祖父に尋ねたことはなかったし、尋ねようと思ったこともなかった。『自分』と『社会』は分離したのではない。『社会』の中に『自分』がある。遠い誰かを想像しながら、実家から徒歩15分の距離に暮らす祖父には無関心だった。ラジカセを聞きながら、私は恥ずかしくなった。(井本)

深耕深考

未来は過去と地続き

君島 東彦 本学国際平和ミュージアム館長



「未来を信じ、未来に生きる」を掲げる立命館の「未来志向」は否定しない。だが立命館憲章の改正案が、より良いものになっているか疑問だ。

改正案の解説では、学園の姿を未来志向に据え、留学生の立場でも理解しやすい表現にしたと説明している。立命館は、グローバル化で世界の各地域から学生・教員を受け入れており、構成員が大きく変わってきているのは間違いない。

しかし第2次世界大戦を巡る文言を削除すれば、未来志向になるわけではない。国の侵略戦争がある。大学

は戦争を止めることができず、むしろ戦争に加担した。大学の責任はなくなったわけではない。

現在は過去と地続きであるため、未来も過去と地続きだ。きちんと歴史に向き合う必要がある。なぜ戦争になったのか考え、どうすれば防げるかを考えることが求められる。

「立命館憲章」の改正に反する署名の数が1万6千を超えた。6月29日時点で、署名数は1万6859人。

有志の会は「第2次世界大戦」という言葉には、加害と被害、苦痛と教訓、「二度と繰り返してはならない」という強い決意が凝縮されている。『第2次世界大戦』

検討委の高山元委員長は、反対署名について「社会的な関心があることは認識している」とした上で「学園の構成員の中で議論していきたい」と発言した。(小林)

反対署名 1万6千超

有志の会オンライン署名サイトで

「立命館憲章」の改正に反する署名の数が1万6千を超えた。

立命館憲章改正案の公開を受け、「立命館憲章」改正に反対する有志の会は5月6日にオンライン署名サイト「Change.org」で署名活動を開始した。

有志の会は今後の活動について、「改正案について、大学側の周知が足りていない。署名活動やSNS(交流サイト)、ビラ配りなどで周知していく」とコメントした。(八木)

検討委の高山元委員長は、反対署名について「社会的な関心があることは認識している」とした上で「学園の構成員の中で議論していきたい」と発言した。(小林)



6・7月合併号

立命館大学新聞社
RITSUMEIKAN UNIV PRESS

〒603-8577
京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学学生会館 BOX306
発行人 小林秀太
電話 075-465-8253
info@ritsumeikanunivpress.com

心に寄りそい
“想い”をカタチに



Catering Restaurant
料理工房 ホワイトファミリー



紙面から

2・3 衣笠アートヴィレッジフェスティバル

本学衣笠キャンパスで6月1日、京都市北西部の衣笠地域を巻き込んだアートイベントが開かれた。

4 持続可能な平和へ

戦後80年——。戦争を知る世代が少なくなる中、学生は何を思うのか聞いた。

公式SNS

@Rits_Press

@rits_press

海神

私の興味関心は常に「自分」から始まっていた。生まれ変わったら男になりたい。家庭を持ってバリバリ仕事したいから。中学生の夏、何げない会話の中でそう答えたことをよく覚えている。母子手帳にある、「育児が辛いと感じることがある」というチェック項目。チェックを見つけ、当時の母を想像したこともある。悲しくて、怒りが湧いて、「ジェンダー」に興味を持った。社会学を勉強しようと思った。児童虐待、地域社会、多文化共生と、関心は広がった。視線は「自分」から「社会」へ移っていく。遠い誰かを想像するようになる。『戦後80年』。テレビでも新聞でも、その言葉が飛び交う。特集を見て、過去と未来に平和を祈る。祖父はいつもラジカセを付けたまま眠る。幼い頃、「ヘンなの」と思いながら、横で目を閉じた記憶がある。祖母の葬儀前夜も、やっぱりラジカセは付いていた。また、『ヘンなの』と思った。『おじいちゃん』と言わなければ、暗くて静かだ、やっぱりまだ戦争のこと思い出してしまっている。母がそう言った。祖父が戦争を体験していることはもちろん知っていた。しかし正直なところ、戦争について祖父に尋ねたことはなかったし、尋ねようと思ったこともなかった。『自分』と『社会』は分離したのではない。『社会』の中に『自分』がある。遠い誰かを想像しながら、実家から徒歩15分の距離に暮らす祖父には無関心だった。ラジカセを聞きながら、私は恥ずかしくなった。(井本)

好感度アップの決め手は 爽やかな笑顔!

透明感のある自然な白さに!
ホームホワイトニングでポイントUP!
ホームホワイトニングの特徴
お気軽に相談ください!

- ✓ 自宅で手軽に行える
- ✓ 歯列全体に使える
- ✓ 通院回数が少ない

歯の色や歯のゆがみが気になる方
審美歯科
希望に応じて様々な治療法をご提案
すきっ歯など歯並びをきれいにしたい方
歯列矯正
目立たない舌側矯正もOK

前歯を治療するだけでも、印象はグッと変わります!
相手に好印象を与えるポイントは、①清潔感 ②ハキハキとした受け答え ③明るい笑顔。「歯の黄ばみ」「虫歯の治療痕」などを気にして、無意識に口元を隠すような仕草は、自信なさげな印象を与えてしまいます。社会人になると、なにかと忙しくなるものもあり、ぜひこの機会に治療して、白い歯&きれいな口元と、自信あふれる素敵な笑顔を手に入れましょう。
海外では歯並びが悪いことがマイナスイメージに
国際的に活躍したい人には、矯正治療がおすすめ。欧米では歯並びを整えることは、大切なマナーでもあり、面接時のチェックポイントにする企業も増えているとか...
グローバル化が進む中、きれいな歯並びは一生の財産になります。歯の裏側に付ける目立たない矯正装置もありますので、お気軽にご相談ください。

白梅町 アリス歯科医院
まずは電話でご予約ください!
075-462-8211
スマホからはこちら!→
http://www.alicedental.jp/

大阪大学歯科部医師チームによる治療

虫歯、歯周病など一般保険治療もご相談ください。



阪哲朗さんが指揮 交響楽団特別ステージ

本学交響楽団と指揮者・笠キャンパスの以学館で開
阪哲朗さんによる特別ス
催された写真。1時間
「威風堂々」第1
本学が4月25日に新聞各

立命館憲章の改正に向
で、本学にて平和構築を
けた協議が進んでいる。
長年担ってきた国際平和
しかし、学生に対して
ミュージアムは、改正案
は、manaba(マナバ)
+R上のお知らせに投稿
された。みで広く周知さ
さらに、教職員組合に
対する説明や意見聴取は
一切なされず、組合四役
トへの説明が足りていな
かったという現状だ。

憲章改正における手続
きとは適切であったらう
が機関紙を通して強い遺
憾の意を表明する事態と
なった。

今回改正案を作成し
た「立命館憲章」改正検
討委員会には、本学学生
や院生などといったメン
バーが含まれていない。
また、学園の構成員「あるべき手続を踏んで

も甚だ疑問が残る。

社説 立命館憲章改正 全構成員が納得できる手続を

立命館憲章は立命館学
園を構成する全ての人々
のものである。したがっ
て、学園を構成する全
のパートに対する説明を
怠ってはならない。

そして、「平和と民主主
義」を教学理念に掲げる
立命館だからこそ、今回
の検討に際して、全ての
パートの意見を踏まえた
民主的な議論を行い、そ
れぞれが納得のいく憲章
にしなければならなかつ
たはずだ。

全ての構成員が改正案
の協議に参画し、納得で
きるような手続を学園
に求める。

深料深考

(一面から続く)

教学理念「平和と民主主義」
を絶えず再確認・再定義し、そ
の時点の社会状況に応じて中身
を深めていくべきだ。

戦争は過去の話ではない。ウ
クライナやガザなどで、今進行
しているのだ。これらの問題に日
本の学園はどう対応するのが
問われている。

グローバル化した学園がグ
ローバルな戦争と平和の問題に、
留学生たちと共にどう取り組む
かが書かれるべきだろう。

私が平和を考える出発点は、
啓蒙思想家のイマヌエル・カント
だ。「永遠平和のために」にある
平和の定義を、私は「国家間の
一切の敵対関係を終わらせるこ
と」と訳したい。平和は関係性
と」と話した。(吉江)

「対話」で将来の平和の準備を



国際平和ミュージアムの常設
展示 (同ミュージアム提供)

解したともいえるだろう。だが、
市民の心の中で和解はなされた
のか。まだ道半ばだろう。

国際平和ミュージアムの展示
は、敵対関係がなぜあるのかを
示している。平和博物館には被
害者の側から被害を展示するも
のが多い中、国際平和ミュージ
アムは、被害と加害の両面を見
つめている。きちんと歴史に向
き合い、どのように敵対関係を
克服しうるのか、考える材料を
提供している。

立命館には多くの留学生がい
る。留学生との日々の対話は、
間違いない平和を準備している。
大学は平和外交の主体として極
めて重要な。

多様なバックグラウンドを持
つ学生と接し、対話すること、
とりわけ留学生と出会うことは、
平和構築において大きな意味が
ある。生身のいろいろな人々と
出会うことが、将来の平和の準
備であり、平和外交なのだ。

(聞き手・小林)

100円夕食で 学生を支援 企業の協賛で実現

企業の協賛で実現

関西インカレ 女子総合優勝

4年連続で

立命館生活協同組合は6
月4日、衣笠キャンパスと
びわこ・くさつキャンパス、
大阪いばらきキャンパスの
食堂で「100円夕食」を
実施した。通常650円の
「ほっけの塩焼き定食」が、
100円で学生組合員に計
2100食提供された。

立命館生協の「物価高が
続く中でもしっかりと栄養を
取り、勉強を頑張つてほし
い」という思いに、ICT
企業のSky(大阪市淀川
区)が共感し、費用を負担
した。

利用した学生は「魚料理
はコストがかかり、自炊の
ハードルが高いのでありが
たい」と感謝した。

企画運営したキャンパス
た」とした。(井本)

衣笠で「グリスロ」活用

小型電動車両 地域周遊の足に

「衣笠アートヴィレッジフェスティバル」では、時速
20キロ未満で走行する小型電動車両「グリスロスローモ
ビリティー」(グリスロ)や電動自転車車の活用が進んだ。
[KINUGASA Redesign Project]では、衣笠に点在する
アート拠点をつなぐため、グリスロのさらなる活用が検
討されている。
(小林、井本、津田)

「らくらく乗り降り」

「手応えは想像以上。おか
げさまで大盛況だ」
ヤマハ発動機でグリスロ
を担当する込宮正宏さんは、
笑顔を見せた。

衣笠キャンパスでは、キャ
ンパス内をグリスロで巡る
企画が午前10時から行われ
た。車両は、ヤマハ発動機



衣笠キャンパスを走るグ
リスロ。6月1日

ドで乗客を案内した。全地
球測位システム(GPS)
などを活用し、場所に合わ
せた音声流した。歴史を
知って、キャンパスを楽しん
でいた。

仁和寺ツアーも

真言宗御室派総本山・仁
和寺(京都市右京区)でも、
グリスロで境内を巡るガイ
ドツアーが行われた。「立命
館大学神社仏閣ボランティア
ガイド」として活動する
本学学生が同乗し、参加者
は30分ほどで五重塔などを
回った。

ガイドの安野幹人さん(文
3)はグリスロの導入に期
待を寄せる。「高齢の方や、
足が不自由な方にも楽しん
でもらえ、境内のバリアフ
リーを目指す。ガイドが
同乗することでより付加価
値が付けられる」と話した。

米留学生ら受け入れへ 約5億円支援 トランプ政権の措置受け

約5億円支援 トランプ政権の措置受け

トランプ米政権による留
学生受け入れ停止措置を受
け、学校法人立命館は6月
3日、本学と立命館アジア
太平洋大(APU)で最大
100人の留学生を受け入
れ、総額約5・3億円の支
援を行うと発表した。

自治委員・自治会役員選 投票率微増 14.6%

これをを受け、中央選挙管理委員
会の委員長を務める三井葉菜さん
(生命3)は「本年度も、回生が上
がるにつれて投票率が低下する傾
向が見られた」と話す。

また、これからについて、「1回
生は授業割愛を実施する割合が高
く、それに伴って投票率も高くなっ
ている。上回生においても授業割
愛を実施していきたい」とコメント
した。(八木)

入試を課した上で、本学で
大学院生を、APUで学部
生を受け入れる。
非正規生の場合、科目等
履修生などとして、学部・
大学院で受け入れる。
立命館は「今後も、国際
的な教育・研究環境の維持
と、学生・研究者一人一人の
挑戦を支えるため、柔軟か
つ積極的な対応を進めてま
います」とした。(小林)



立命館憲章の改正案を巡り、立命館大学教職員組合の機関紙「ゆにおん」は6月3日、「全構成員が納得で組合の見解を伝えた「ゆにおん」(画像の一部を加えています)

教職員組合四役が見解

「未来への責任 今こそ議論を」

憲章改正

きない限り、改正すべきではない。記念式典での公表ありきの日程を見直し、議論の時間を十分確保すべきだ」とする執行委員長や書記長ら組合四役の見解を伝えた。

「現行憲章の持つ普遍性

同紙で組合四役は、改正プロセスの透明性と合意形成に不備があると懸念を示した。教職員組合に当初、一切の説明や意見聴取がなかったことに、組合四役は強い遺憾の意を表明。「学園民主主義の原則に反するものと言わざるを得ない」と訴えた。

また改正の背景にある社会情勢の変化について一定の理解を示しつつ「現行憲章の持つ普遍的な理念は、そうした変化にも十分対応し

うる柔軟性を持ち合わせているはずだ。なぜ今改正するのか、納得できる説明を尽くすべきだ」とした。具体的改正案については「第2次世界大戦後、戦争の痛苦の体験を踏まえて、私立の学園であることの特性を活かし、自主・民主・公正・公開・非暴力の原則を貫き」「確かな学力の上に豊かな個性を花開かせ」といった文言は削除すべきではないと主張する。

このほか、「中学生でも解

説があれば理解できる内容」として「創発性」「次世代研究大学・次世代探究学園」の文言は分かりにくく指摘。文言を削除せず解説版を作成すれば、全構成員に伝わるとした。

組合四役が憲章の改正についての説明を学園に求めたことを受け、5月27日に説明会が開催された。説明で組合は、学園からの説明が遅れたことについて「全学協議会構成パート

パフォーマンスする伝統芸能サークル「和太鼓ドン」
6月1日、京都市北区・衣笠キャンパス



衣笠全体 アートに染まる



茂山千五郎家が狂言披露

京都を拠点にする狂言の一門・茂山千五郎家の特別ステージ=写真=が6月1日、本学衣笠キャンパスの以学館で開かれた。披露される軽妙な演技に、客席からどっと笑い声が上がった。

「蝸牛(かぎゅう)」では、千五郎さんの次男で、本学総合心理学部に在籍している茂山虎真さんが、主役(シテ)の山伏を務めた。主

人は、三男で立命館宇治高の茂山鳳仁さんが、太郎冠者は、長男で本学映像学部で茂山竜正さんが演じた。滑稽な様子の演技に、子どもたちも楽しんでいた。

茂山さんは公演後、「狂言は古典芸能の中でもかなり分かりやすい。これを機に、古典芸能や芸術・文化に興味をもってもらえればありがたい」と話していた。(小林)

本学衣笠キャンパスで6月1日、京都市北西部の衣笠地域を巻き込んだアートイベント「KINUGASA ART VILLAGE FESTIVAL (衣笠アートヴィレッジフェスティバル)」が開かれた。本学によると、来場者数は1万2千人を超えた。学生のほか家族連れも多く訪れ、アートや地域を楽しんでいた。

(小林)

イベントは、周辺のProject (衣笠リデザインプロジェクト)と連携し、ロケット)の一環。かつて、本学が4月に始動して堂本印象や山口華楊などの日本画家が居を構え、「衣笠絵描き村」と呼ばれた衣笠の魅力も、アートを軸とした街づくりを通じて世界に発信する。

イベント当日は伝統芸能やトークイベント、学生による展示・パフォーマンスのほか、学外の神社などでも催しが行われ、企画は計76件を数えた。

イベントでは衣笠エリアを「アートヴィレッジ」に見立て、散策・周遊できるような取り組みがあった。オープニングセレモニーであいさつに立った学校法人立命館の仲谷善雄総長は「今後も衣笠周辺地域の各施設と立命館が連携し、この取り組みが地域に根付いた企画になることを目指している」と説明していた。

衣笠舞台にアート対談

原田マハさん・高岩シュンさん

小説家の原田マハさんと、ARTISTS FAIR KYOTO (アーティストズ・フェア・キョウト)などをプロデュースする高岩シュンさんによるアート対談が6月1日、本学衣笠キャンパス以学館で開催された。

「京都のアートの楽しみ方」と題したコーナーでは、京都各所の美術館や博物館などを紹介。それぞれの魅力を語った。

高岩さんは「京都の文化・芸術は非常に豊か。だからこそ、受け身になるのではなく、立命館の学生の方々ははじめとする若い皆さんには、常に改革を進めていってほしい」と期待を寄せる。

高岩さんは、2026年春、本学衣笠キャンパスに「デザイン・アート学部(設置構想中)」が新設されることに言及。「衣笠がより芸術豊かなまちになるための取り組みの一つになるのでは」と展望を語った。(吉江)



失明も進んだ研究の道

栗川 治さん

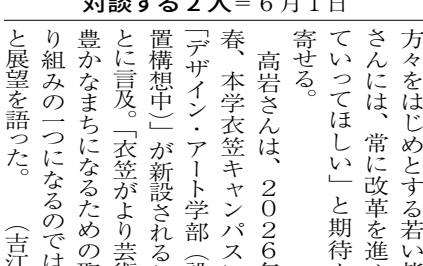
障害のある教員が働くことは可能か。栗川さんは、障害のある教員の運動史について研究している。全員の社会科教員として働きながら2018年、本学大学院に入学した。教員を定年まで勤め上げた後は、研究に専念。今年3月には、本学から博士学位が授与された。

今後の課題は、「異在労働同一賃金」について研究を深めていくことだという。異在労働同一賃金とは、異なる在り方の労働であつても、人権や尊厳、待遇などを平等に保証するものだ。

「これは障害がある人や教員に限った話ではない」と話し、女性妊娠、出産し、育児を担わされている状況を例に挙げる。

「そもそもそれ自体が問題である」と指摘し、「残業が困難であったり、時短勤務にしなければならぬ状況に對しても、この考えで解決の糸口を見いだせるのではないかと」展望を語る。

今後は、同志社大で研究を続ける。本学の助成もあり、今年中をめどに書籍の出版も予定している。「この分野の研究に参画してくれる人が増えたら一番うれしい」と笑顔を見せた。(吉江)



対談する2人=6月1日

持続可能な平和 目指す

国際関係学部4回生 倉本芽美さん

くらもと・めみ 2002年、広島県出身。核廃絶運動に取り組む学生団体「KNOW NUKES TOKYO」共同代表。



■抱いた違和感
広島出身の倉本さん。広島市内に出れば、核兵器反対運動に参加する人や、原爆ドーム（広島市中区）の前にキャンドルが灯される様子を見ることがあった。本学に入り、核兵器の存在によって戦争を抑える安

今年、夏で終戦から80年。戦争を知る世代が少なくなる中、核なき世界を目指して京都で活動する学生がいる。持続可能な平和とは何か。節目の年に何を思うのか聞いた。（吉江）

「核兵器は過去の問題ではない」
全保障政策「核抑止」について学んだ。「核兵器のない平和な世界を求めている人がいる一方、核兵器を平和をつくる手段として使っている人もいる」。ギャップに気持ち悪さを感じた。考えが揺れるときもあるという。「核兵器はない方がいいと思う一方、もしかしたら核兵器は本当に持続可能な安全保障政策として成り立っているのか、という点に

「核兵器は過去の問題ではない」



ら核兵器に頼る平和がいいのかもしれない、と思わない訳ではない。だがやはり、核兵器に頼る平和は持続可能ではない」

「核兵器は、過去だけでなく今の問題」とし、「ただ非人道性のみで核兵器を否定するのはなく、国際政治の理論でも、核兵器についての自分の言葉で語れるようになりたい」と話す。

核兵器は本当に持続可能な安全保障政策として成り立っているのか、という点に

「琵琶湖疏水」国宝へ

文化審議会答申 南禅寺水路閣など5カ所

京都市と大津市にまたがる「琵琶湖疏水施設」で、「第一隧道」など5カ所が国「明治日本における都市基盤施設の金字塔である」と高く評価した。琵琶湖疏水は、明治維新



レンガのアーチで知られる「南禅寺水路閣」（京都市上下水道局提供）

「第一隧道」は全長約2キロと建設当時日本最長の隧道。日本で初めて堅坑工法で造られた。「南禅寺水路閣」は疏水の分線が南禅寺境内を通過する場所に設けられた水路橋。赤レンガの14連アーチは、全長93メートルに及ぶ。琵琶湖疏水では、1996年に第1疏水の関連施設12カ所が国の史跡に指定され、2007年には、経済産業省により近代化産業遺産に認定されていた。

琵琶湖疏水記念館（京都市左京区）の資料研究専門員・吉田武弘さんは「この機会に、蹴上インクラインで写真を撮るなどして琵琶湖疏水に触れると同時に、歴史も学んでほしい」と話した。（今井）

■次世代に求めること
被爆者団体の全国組織「日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）」は2024年、ノーベル平和賞に選ばれた。

受賞理由の一つに、日本被団協の活動が次世代に受け継がれている点がある。その「次世代」とは誰な

■花垣さんとの出会い
倉本さんが、初めて出会った「名前と顔が一致する被爆者」。それが花垣ルミさんだった。1945年8月6日、爆心地から約1・7キロの地点で被爆した。

「自身が被爆者であることが、娘に何か影響を与えてしまったかもしれない」

倉本さんは、花垣さんが涙ながらに語っていたことを強く覚えていてという。

「戦争を経験された方のストーリーは多種多様。だからこそ1945年8月のことだけでなく、その後の人生のことについてもっと知っていく必要があるし、もっと多くの人に聞いてほしい」

■平和の在り方
「被爆者の体験が多種多様であるように、平和や核兵器に関してどのような点に関心を持つのかもさまざま」と話す。

多様な視点から核兵器の存在について問うていくことが、今の核軍縮を進める国際社会で行われている。

核兵器でいえば、その非人道性だけでなく国家の安全保障政策が決定するまでの過程、環境保全といった多様な問題が付随している。

「平和の在り方は人それぞれ」と話す。「戦後80年の今、それが持続可能な平和なのか、また、現在核兵器が実際に使われたらどうなるのか、各々が少し考える余地を持つ夏になれば」

のか。倉本さんは、10代や20代だけでなく、直接的な原爆の被害を体験していない全ての世代を指す、という認識を共有していきたいと話す。

「戦争を体験していない世代が増える中で、どう語り継いでいくのかという問題がある。それは、原爆を経験した世代より下の世代にとって、共通の課題」とし、どの世代に対しても参画を求める。

6年に第1疏水の関連施設12カ所が国の史跡に指定され、2007年には、経済産業省により近代化産業遺産に認定されていた。

琵琶湖疏水記念館（京都市左京区）の資料研究専門員・吉田武弘さんは「この機会に、蹴上インクラインで写真を撮るなどして琵琶湖疏水に触れると同時に、歴史も学んでほしい」と話した。（今井）

「言葉を紡ぐ過程に意味」
倉本さんは、本学国際平和ミュージアム（京都市）で学生ガイドとして活動している。

「私ができるのはきっかけづくり。訪れる学生らと、比較的年齢の近い自分がどう思ったのかを伝えたい。ただ資料を見るだけでなく、誰かの言葉

で聞けば分かるということもあるかもしれない」と話す。

「展示を見て、私が問い掛けて、答えが返ってくる。やり取りの中で、言葉を紡ぎ出してい

く過程に意味がある」。対話を大切にしているという。

卒業後は、核兵器廃絶のために活動する「核兵器をなくす日本キャンペーン」で活動

を続けていく。

「10年後には、全然違うことをしているかもしれない。でも、しばらくは核兵器の問題に関わりたい」（吉江）

「立命館憲章」全文

＜本文記事1画＞

現行の「立命館憲章」の全文は次の通り。

【現行憲章全文】

立命館は、西園寺公望を学祖とし、1900年、中川小十郎によって京都法政学校として創設された。「立命」の名は、「孟子」の「尽心章句」に由来し、立命館は「学問を通じて、自らの人生を切り拓く修養の場」を意味する。

立命館は、建学の精神を「自由と清新」とし、第2次世界大戦後、戦争の痛苦の体験を踏まえて、教育理念を「平和と民主主義」とした。

立命館は、時代と社会に真摯に向き合い、自主性を貫き、幾多の困難を乗り越えながら、広く内外の協力と支援を得て私立総合学園への道を歩んできた。

立命館は、アジア太平洋地域に位置する日本の学園として、歴史を誠実に見つめ、国際相互理解を通じた多文化共生の学園を確立する。

立命館は、教育・研究および文化・スポーツ活動を通じて信頼と連帯を育み、地域に根ざし、国際社会に開かれた学園づくりを進める。

立命館は、学園運営にあたって、私立の学園であることの特性を活かし、自主、民主、公正、公開、非暴力の原則を貫き、教職員と学生の参加、校友と父母の協力のもとに、社会連携を強め、学園の発展に努める。

◇

立命館は、人類の未来を切り拓くために、学問研究の自由に基づき普遍的な価値の創造と人類的諸課題の解明に邁進する。その教育にあたっては、建学の精神と教育理念に基づき、「未来を信じ、未来に生きる」の精神をもって、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努める。

立命館は、この憲章の本旨を踏まえ、教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献する。

2006年7月21日
学校法人 立命館

公務員を目指すなら



渡邊綾萌さん 法学部在学中合格

公務員試験に挑むうえで最も面接に不安があった私は、面接対策が充実しているかどうかで予備校を選びました。LECは公務員として働いた経験がある講師陣が多くいらっしやることから、他では得ることのできない公務員目線ならではの貴重なアドバイスをいただいたことが本番に活きたと感じています。面接対策では何を話したらいいかわからない私に対し、まずはエピソードを探るところから寄り添ってくださって本当に助かりました。また、どの受験先であつても豊富な面接データが用意されていたおかげで、想定質問集を作成しての模擬練習の行いやすさはもちろん、本番の緊張感も和らげることができました。

＜最終合格先＞
・国家一般職
・国税専門官
・裁判所職員一般職
・奈良県・奈良市
・京都市

れっく
LEC

60分でわかる！公務員試験のすべて

民間企業だけじゃない！

「公務員」という選択肢

担当：中林 龍 LEC専任講師

8/7 19:00
木 ~20:30

対面

LEC京都駅前本校

※予約不要

Zoom

要予約

LEC東京リーガルマインド

www.lec-jp.com/school/kyotoekimae/

京都駅前本校 ☎ 075-353-9531

LEC京都駅前本校

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル2丁目東堀小路町680-2

木村食品ビル(受付1階) ■受付・開館/HPでご確認下さい。

JR 京都駅中央改札口より徒歩1分
この広告物は発行日現在のもので、事前の告知なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。
著作権者 株式会社東京リーガルマインド © 2025 TOKYO LEGAL MIND K.K. Printed in Japan 無断複製・転載を禁じます。



ご都合の合わない方はこちら！
スタッフとの個別相談

